CLUB PROFILE

SHIZUOKA BlueRevs



BIND AND TRY

MISSION

革新と情熱で、
心躍る最高の感動をつくりだす

ラグビーの世界で、最高峰にチャレンジする。
フィールドの中でも、外でも、世界と対等以上に渡り合う。
そのために、
私たちにしかできないアイデアと熱量と想いを結束し、
「最高だと思える瞬間」「心躍る感動」を
つくり続けます。

VISION

静岡から世界を魅了する、
日本一の
プロフェッショナルラグビークラブをつくる

静岡県を代表するクラブとして、
ファン・地域・パートナーとともに、
プレーのみならず、
ラグビーに関するすべての分野で世界最高峰に挑んでいきます。
『SHIZUOKA PRIDE』を胸に、
日本、世界で語り継がれる強く・愛されるクラブを目指し、
ラグビー界を牽引します。

BRAND MESSAGE

BIND AND TRY

シズオカをバインドする。
シズオカでトライする。

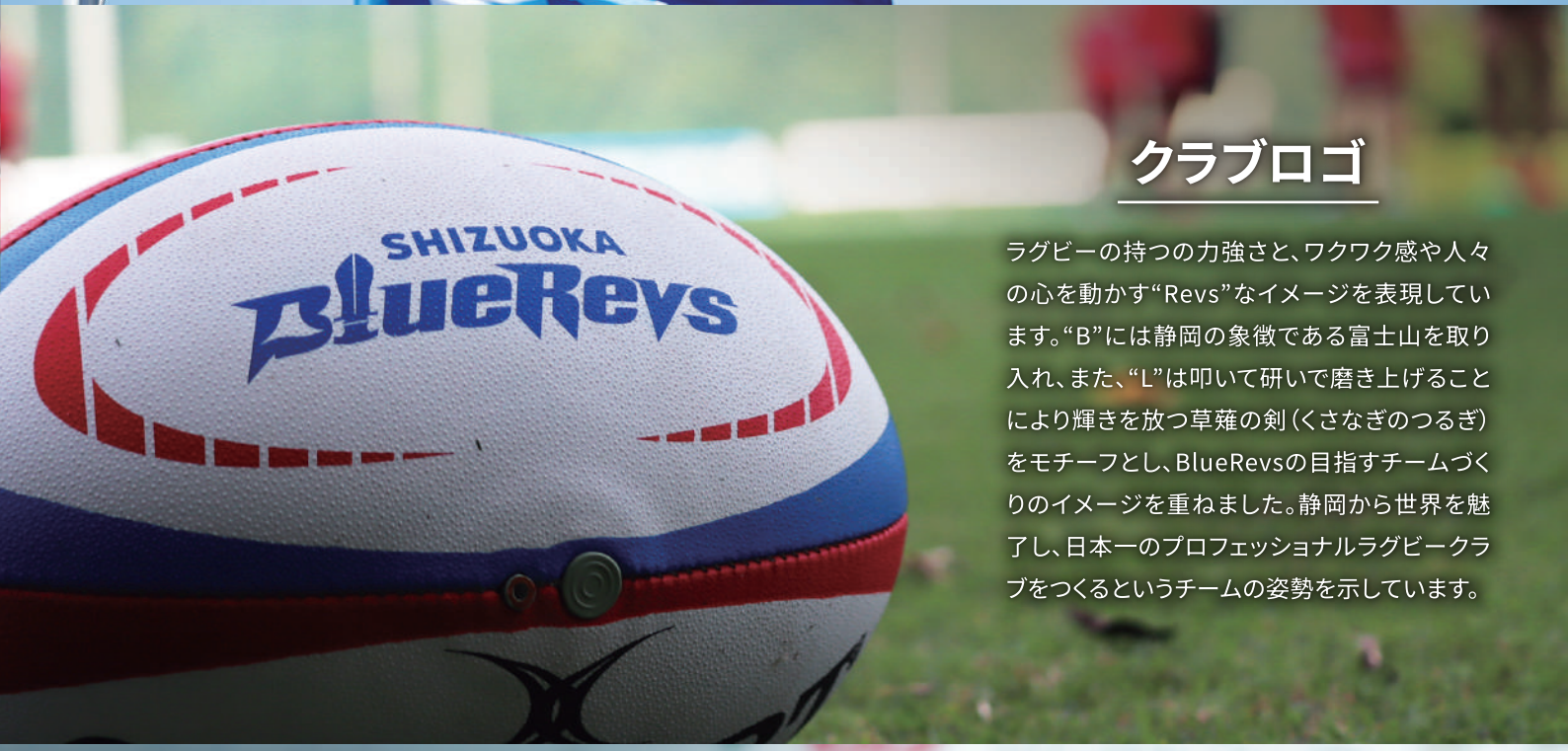
ラグビーというスポーツを通して、
静岡を、ここに暮らすすべての人々を、
ブルーレヴズに関わる全てのステークホルダーを
繋ぎ、束ねる（BIND）ハブとなる。

フィールドの上では勝利とその先にある日本一を
静岡にもたらし、
フィールドの外でも革新と情熱で
ラグビー界に変革をもたらし、
世界最高峰に挑戦（TRY）し続ける。



エンブレム

ヤマハ発動機ラグビー部の初代ジャージのデザインである水色のボーダーライン（左側）と、ホストエリアでありチーム名でもある「静岡」を象徴する富士山と青い空・海（右側）をモチーフとして組み合わせることで、過去と未来の融合を表現しています。また、中央に位置する赤い“5 Hearts”（ファイブハーツ）は、ヤマハラグビーの哲学を表し、時代が変わっても変わらないヤマハスタイルを象徴しています。



クラブロゴ

ラグビーの持つの力強さと、ワクワク感や人々の心を動かす“Revs”なイメージを表現しています。“B”には静岡の象徴である富士山を取り入れ、また、“L”は叩いて研いで磨き上げることにより輝きを放つ草薙の剣（くさなぎのつるぎ）をモチーフとし、BlueRevsの目指すチームづくりのイメージを重ねました。静岡から世界を魅了し、日本一のプロフェッショナルラグビークラブをつくるというチームの姿勢を示しています。

レヴズ（公式マスコット）

富士山の麓の神社に祭られたヤマトタケルが現代に顕現した姿といわれている。

静岡ブルーレヴズの試合を見たことをきっかけにラグビーにハマり、日々試合を観戦。力強い選手達のぶつかり合いやそのひたむきな姿を見て自らもモチベーションを高めている。

武術・剣術に長け、草薙の剣から放たれる技で悪天を打ち消したり選手たちを鼓舞する姿はまさにチームの守護神。静かに、しかし激しく燃える青い炎のように、心に秘めた熱い気持ちによって髪はブルーに染まっている。



ご挨拶



静岡ブルーレヴズ株式会社
代表取締役社長
山谷 拓志

平素より静岡ブルーレヴズにご支援ご声援いただき、誠にありがとうございます。

スタジアムで声援を送ってくださるレヴニスタの皆様、
日頃からクラブを支えてくださるスポンサー・サプライヤーの皆様、
そして、自治体やメディアなど多方面にわたる関係者の皆様へ、心より御礼申し上げます。

静岡の誇りを胸に、ラグビーを通じて「革新と情熱で、心躍る最高の感動をつくりだす」。
この理念を実現するため、静岡ブルーレヴズは日々挑戦を続けております。

昨シーズンは、悔しさが残る結果となりました。
その悔しさを忘れず、私たちは自分たちの現在地と向き合い、足元を見つめてきました。
一つひとつの課題に向き合い、日々の積み重ねを大切にし、着実に前へ進んでいきます。

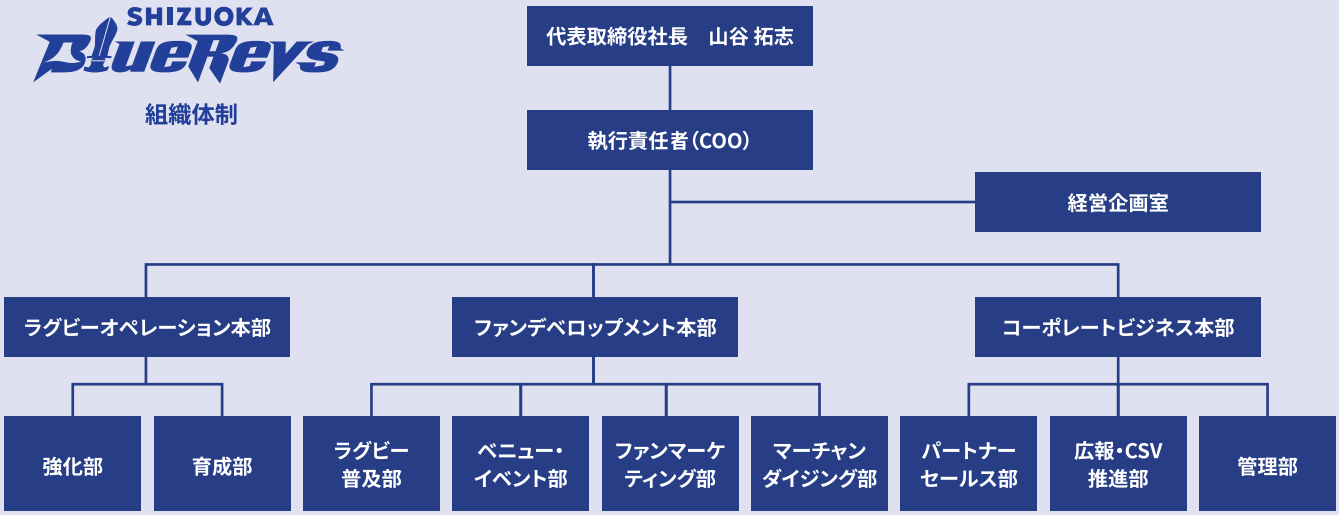
新たな戦力の加入、選手たちの成長、そしてこれまで積み重ねてきた取り組み。
それぞれが融合し、チームは少しずつ確実に進化を遂げています。

静岡ブルーレヴズとなり6年目となる2026-27シーズン。
これまでの積み重ねを力に変え、一歩ずつ、着実に前へ。
静岡ブルーレヴズは、皆様と共に新たなシーズンに挑んでまいります。

引き続き、熱いご声援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

SHIZUOKA BlueRevs

組織体制



CONTENTS

ご挨拶 ---------- P4
連携協定パートナー ---------- P5
戦績・数字で見るブルーレヴズ ---------- P6
選手・チームスタッフ紹介 ---------- P7
事業実績 ---------- P8
エンターテインメント＆ホスピタリティ ---------- P9
ホストタウン ---------- P10・11
選手育成 ---------- P12
競技普及 ---------- P13
SCRUM Action ---------- P14
Company Profile・レヴズドリームファンド ---------- P15
HISTORY ---------- P16・17
2026-27シーズン静岡ブルーレヴズ ---------- P18・19
オフィシャルパートナー











BIND and TRY











連携協定パートナー

自治体

静岡県　浜松市　磐田市　袋井市　掛川市　静岡市　菊川市
湖西市　西伊豆町　沼津市　川根本町　焼津市　御殿場市　牧之原市
森町　御前崎市　富士市　藤枝市　三島市

2025年10月末時点

産学連携

静岡聖光学院中学校・高等学校

静岡産業大学

静岡県立清水南高等学校・同中等部

海外クラブ

スタッド・トゥールーザン
（フランス）

戦績

	2022シーズン 8位 16戦 5勝 11敗	2022-23シーズン 8位 16戦 5勝 2分 9敗	2023-24シーズン 8位 16戦 6勝 2分 8敗	2024-25シーズン 5位 18戦 14勝 4敗	2025-26シーズン 7位 18戦 7勝 11敗
総得点	327	404	501	616	579
総トライ数	47	55	72	91	86
スクラム勝利率	88%	87%	94%	93%	89%
チームトライランキング	1位 クワッガ・スミス (9トライ) 2位 マロ・ツイタマ (6トライ) 3位 ヴィリアミ・タヒトゥア (4トライ)	1位 マロ・ツイタマ、日野 剛志 (9トライ) 2位 クワッガ・スミス (6トライ) 3位 ブリン・ホール (3トライ)	1位 マロ・ツイタマ (15トライ) 2位 マルジーン・イラウア (5トライ) 3位 日野 剛志 (5トライ)	1位 北村 瞬太郎 (15トライ) 2位 マロ・ツイタマ (11トライ) 3位 ヴァレンス・テファレ (8トライ)	1位 マロ・ツイタマ (11トライ) 2位 北村 瞬太郎 (8トライ) 3位 ヴァレンス・テファレ (6トライ)
リーグワンタイトル	ベスト15／クワッガ・スミス (NO8)	ベスト15／クワッガ・スミス (NO8) プレーヤー・オブ・ザ・シーズン※／クワッガ・スミス	ベスト15／マロ・ツイタマ (WTB) 最多トライゲッター／マロ・ツイタマ ゴールデンショルダー※／ジョーンズリチャード剛 社会貢献賞※／チーム受賞	ベスト15／クワッガ・スミス (FL) ヴァレンス・テファレ (WTB) 新人賞／北村 瞬太郎 (SH)	受賞なし

※選手間での投票　　データ提供 Opta by STATS PERFORM

数字で見るブルーレヴズ

選手の出身国
7 カ国

選手の平均年齢
26.1 歳

選手の社員率
51.8 %
※日本人のみでは80.6%

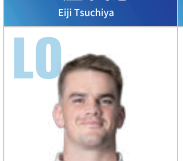
日本代表経験者数
7 人
※2026年10月1日時点

各国代表Cap数
88 Caps
※2026年10月1日時点

選手の合計体重
5,569 kg
(平均:約99.4Kg)

2026-27 SEASON PLAYERS

（2026年11月1日現在）

PR  日本代表 6 Caps 伊藤 平一郎 Heiichiro Ito	PR  河田 和大 Kazuhiro Kawata	PR  山下 憲太 Kenta Yamashita	PR  日本代表 6 Caps 茂原 隆由 Takayoshi Mohara	PR  中山 律希 Ritsuki Nakayama	PR  ショーン・ヴェーテー Sean Vete	PR  日本代表 3 Caps 稲場 巧 Takumi Inaba	PR  本山 佳龍 Keitatsu Motoyama
PR  土屋 英慈 Eiji Tsuchiya	PR  田嶋 グン Gun Tajima	HO  日本代表 5 Caps 日野 剛志 Takeshi Hino	HO  八木澤 龍翔 Ryuto Yagisawa	HO  作田 駿介 Shunsuke Sakuta	HO  シアレ・マヒナ Siale Mahina	LO  日本代表 2 Caps 桑野 詠真 Eishin Kuwano	LO  マリー・ダグラス Murray Douglas
LO  ジャスティン・サングスター Justin Sangster	LO  ヤンコ・アウカンプ Janco Aucamp	LO  能勢 涼太郎 Ryotaro Nose	LO  アントニオ・シャルフーン Antonio Shalfoon	LO  マックス・ダグラス Max Douglas	FL  杉原 立樹 Riki Sugihara	FL  庄司 拓馬 Takuma Shoji	FL  ジョーンズリチャード剛 Richard Goh Jones
FL  齋藤 良明慈縁 Lamin Dieng Saito	FL  ヴェティ・トゥポウ Vueti Tupou	FL  福田 大晟 Taisei Fukuda	FL  ダニエル・マイアヴァ Daniel Maiava	NO8  リッチモンド・トンガタマ Richmond Tongatama	NO8  ステファン・ヴァハフォラウ Stefarhn Vahafolau	SH  岡﨑 航大 Kodai Okazaki	SH  日本代表 1 Cap 北村 瞬太郎 Shuntaro Kitamura
SH  加藤 大冴 Taiga Kato	SH  細矢 聖樹 Sena Hosoya	SO  家村 健太 Kenta Iemura	SO  筒口 允之 Makoto Tsutsuguchi	CTB  伊藤 峻祐 Shunsuke Ito	CTB  シルビアン・マフーザ Sylvian Mahuza	CTB  岡﨑 颯馬 Soma Okazaki	CTB  五島 源 Gen Goto
CTB フィジー代表 11 Caps セミ・ラドラドラ Semi Radradra	CTB アキ・トゥイバイララ Aki Tuivailala	CTB オーストラリア代表 39 Caps ハンター・パイサミ Hunter Paisami	WTB 矢富 洋則 Hironori Yatomi	WTB 日本代表 9 Caps マロ・ツイタマ Malo Tuitama	WTB 槇 瑛人 Eito Maki	WTB ジャック・ティム Jack Timu	WTB ヴァレンス・テファレ Valynce Te Whare
WTB 杉本 海斗 Kaito Sugimoto	WTB 御池 蓮二 Renji Oike	WTB ハインリッヒ・フルックス Heinrich Flooks	FB 山口 楓斗 Futo Yamaguchi	FB 佐藤 健人 Kent Sato	FB オーストラリア代表 6 Caps ジョック・キャンベル Jock Campbell	UTB 奥村 翔 Kakeru Okumura	UTB 奈須 貴大 Takato Nasu

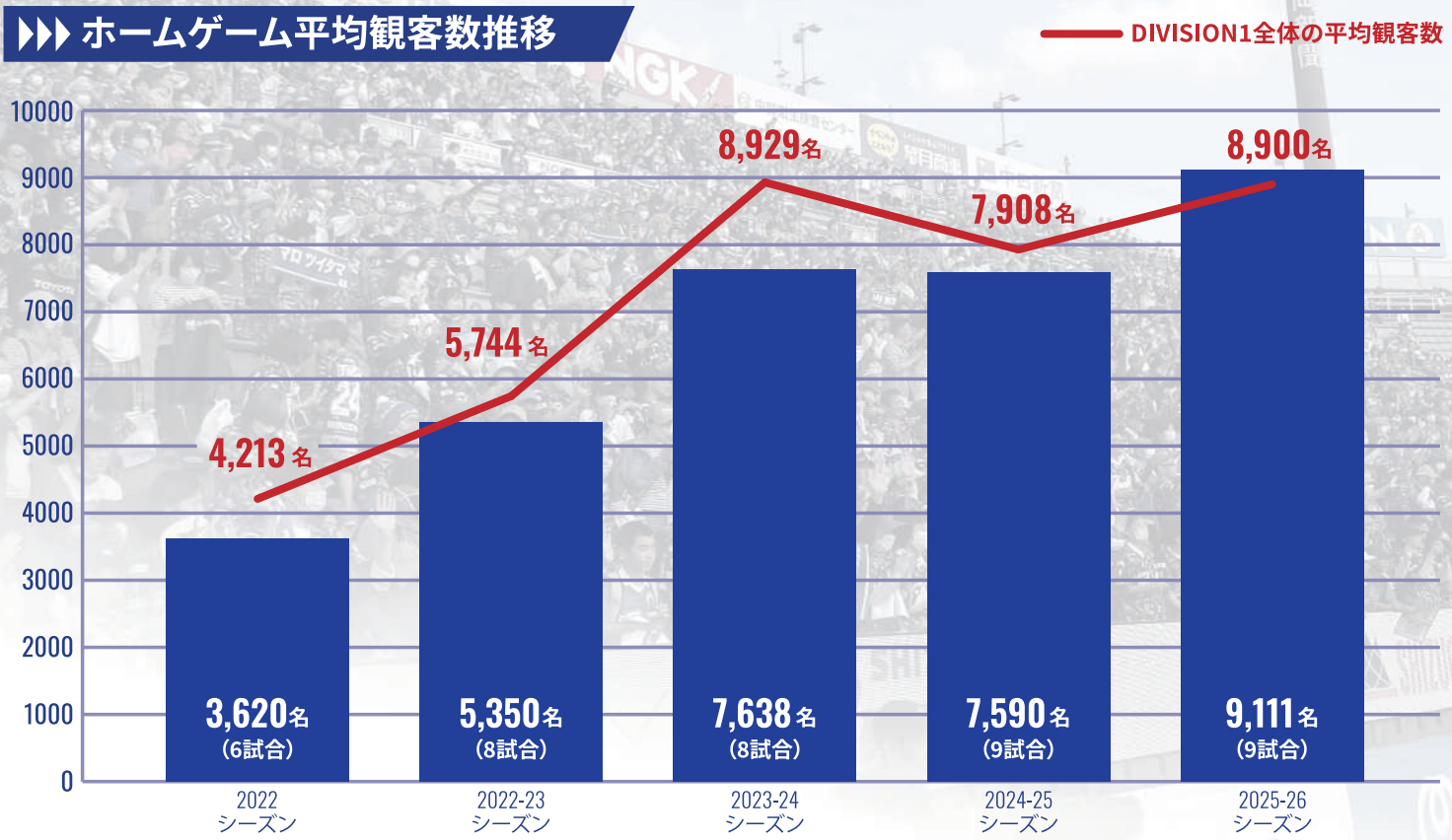
COACHES & STAFF

監督
藤井 雄一郎

監督	藤井 雄一郎	チームマネジャー	中村 彰	リカバリースペシャリスト	村田 隆郎
スクラムコーチ	長谷川 慎	アシスタントマネジャー／通訳	赤松 魁	メディカルアドバイザー	内山 啓
アシスタントコーチ	堀川 隆延	ヘッドS&Cコーチ	アダム・キーン	管理栄養士	松本 恵美子
アシスタントコーチ	矢富 勇毅	S&Cコーチ	佐藤 大起	管理栄養士	浜田 眞由
アシスタントコーチ	大戸 裕矢	S&Cコーチ	山岡 楽	生活サポート	渥美 典子
アシスタントコーチ	ジョン・ドネヒュー	S&Cコーチ	尾崎 耕一郎	ラグビーオペレーション本部長／強化部長	山谷 拓志
レフリングアドバイザー	クリス・ポロック	ヘッドアスレティックトレーナー	濱野 武彦	ラグビーオペレーション本部 強化部 チームディレクター	西内 勇人
アナリスト	瀬尾 勝太	アスレティックトレーナー	山口 裕之	ラグビーオペレーション本部 マネジメントユニット ユニットリーダー／U18アシスタントコーチ	加藤 圭太
通訳	吉水 奈翁	アスレティックトレーナー	相澤 基貴	チームマネジメントユニット パートナーアライアンス	正本 豊
ITコーディネーター	松山 貴博	アスレティックトレーナー	荒谷 恭介	ラグビーオペレーション本部 育成部長	田井中 亮範
		チームドクター	猿川 潤一郎	ラグビーオペレーション本部 育成部 U18 監督	小池 善行
		チームドクター	塩崎 太郎	ラグビーオペレーション本部 育成部 U18チームマネジャー	吉良 友嘉
		チームドクター	曽根田 光		

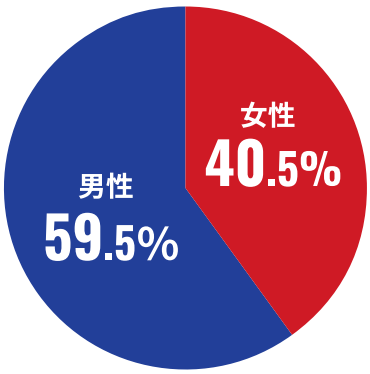
観客動員数

ホームゲーム平均観客数推移

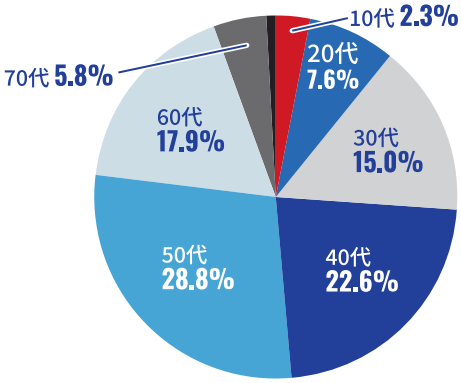


OFFICIAL FANCLUB Club Reys 会員数

2022 シーズン	11,903 人
2022-23 シーズン	18,696 人
2023-24 シーズン	30,457 人
2024-25 シーズン	38,874 人
2025-26 シーズン	47,634 人



性別



年齢

SNSフォロワー数

31,352 FOLLOWERS	35,574 FOLLOWERS	6,932 FOLLOWERS	7,620 FOLLOWERS	9,462 FOLLOWERS	6,474 FOLLOWERS	543 FOLLOWERS

（2026年9月末時点）

エンターテインメント＆ホスピタリティ

毎試合、異なるテーマでエンターテインメントを追求した静岡ブルーレヴズらしいホームゲーム

ヤマハスタジアム・エコパスタジアム・IAIスタジアム日本平と3つのスタジアムで開催するホームゲームでは、毎試合異なるテーマで非日常空間を味わえるようなイベントや企画が満載。
また、ご来場いただいた皆様に感動と興奮を届けるエンターテインメントを追求しつつ、再びスタジアムに足を運びたくなるようなホスピタリティの向上にもクラブ一丸となって努めております。



静岡ブルーレヴズ公式ボランティア

REVS CREW

SHIZUOKA BlueRevs official volunteer





静岡ブルーレヴズが掲げるミッション「革新と情熱で、心躍る最高の感動を作り出す」その心躍る感動を生み出す原動力となりたい、そんな思いから「REVS CREW」は設立されました。
従来の試合会場の雰囲気以上に、親しみやすく、前向きで明るいパワーを生み出しながら、観客の皆様に感動を提供するだけでなく、何よりも参加するボランティア自身が楽しめるボランティア活動を提供していきたいと考えています。



ホームスタジアム



ヤマハスタジアム（磐田市）

開幕戦や最終戦などもっとも多くの試合を戦うスタジアム。毎試合様々なテーマのイベントで、場外のレヴニスタ広場やキッズパークは賑わい、スタジアム内ではレヴニスタの声が響き渡り選手を後押しする。



エコパスタジアム（袋井市）

ラグビーワールドカップ2019™日本大会で日本代表が強豪アイルランド代表を破る金星を挙げた「シズオカ・ショック」の地、エコパスタジアム。日本ラグビーの歴史に大きな一歩が刻まれたこのスタジアムでも毎シーズン試合を行っています。

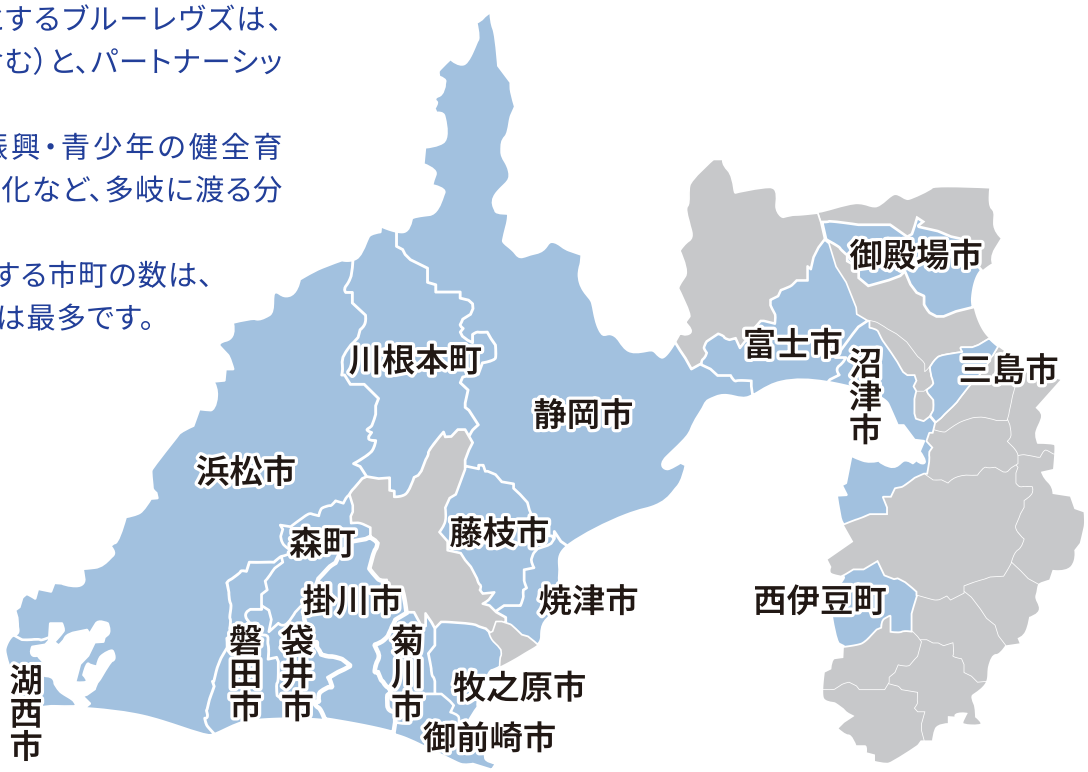


IAIスタジアム日本平（静岡市）

毎年1試合を開催。2024-25シーズンにはクラブとしては初の3rdユニフォームとなる〜ALL SHIZUOKAジャージ〜を着用して試合を行った。Jリーグのベストピッチ賞を過去9回受賞した芝も魅力。

パートナーシップ締結自治体

静岡県全体をホストエリアとするブルーレヴズは、県内19の自治体（静岡県を含む）と、パートナーシップ協定を締結しています。
この協定を元に、スポーツ振興・青少年の健全育成・地域の賑わい創出や活性化など、多岐に渡る分野での連携を進めています。
パートナーシップ協定を締結する市町の数は、静岡県内のスポーツクラブでは最多です。



取組み事例【スタジアム外】

スポーツ振興



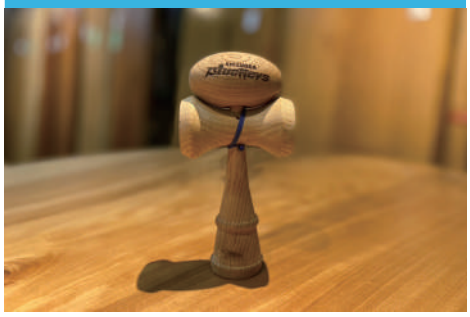
体験会や教室の開催を通じて、
ラグビーを中心にスポーツの普及振興

イベント参加



市町の様々なイベントに選手や
マスコットが参加し盛り上げに協力

ふるさと納税



磐田市と袋井市のふるさと納税に
オリジナルの返礼品を提供

シティドレッシング







プロスポーツクラブが身近にあることでもたらされる街の賑わいや彩り

取組み事例【スタジアム内】

中学2年生一斉観戦（磐田市）





磐田市をふるさととして誇りに想い、将来に渡って愛する気持ちを育むことを目的に、
市内全10校の中学2年生が一斉に試合を観戦。2024年から始まり、延べ人数は約4,700人。

県民招待



パートナー市町にお住まいの方を
ホームゲームへご招待

REVSスマイルキッズPASS



保育園・幼稚園・こども園・小学校・特別支援学校のお子様と
その保護者の招待

特産品PR



スタジアム内の特設ブースなどを
活用して自治体の特産品をPR

広報・啓発活動



警察や消防などさまざまな啓発活動へ
選手やマスコットが協力

パフォーマンス



県内の中学・高校や、団体、アーティスト
にパフォーマンス機会の提供

選手育成



ラグビースクール

ヤマハ発動機時代を含めると20年以上の活動実績。年中児から大人まで幅広い世代にラグビーを楽しむ機会を提供しています。技術だけでなくラグビーを通じた人間力の向上をサポートしています。

生徒数 307名(8月末時点)



アカデミー

小学校5年生～中学3年生を対象に2022年に活動開始。高校・大学のステージに繋がる基本スキルの習得から、静岡産業大学と連携した定期モニタリングによる体作りまで競技スキル向上をサポートしています。

生徒数 65名(8月末時点)



ブルーレヴズ U18

高校生世代が其々が希望する進路に進みながらラグビーを続ける環境を提供することを目的に、2026年春に始動。県高体連や県ラグビー協会とも連携し、合同チームとして「花園」を目指せる環境づくりも目指すリーグワン初の試み。

部員数 9名(8月末時点)

ブルーレヴズRFC清水

静岡県立清水南高等校・中学校との産学連携協定をもとに、2023年4月に設立。同校中等部ラグビー部を地域クラブ化し、県中部などの競技人口拡大に取り組みます。



ブルーレヴズSPO☆CUL ラグビークラブ

2026年4月より磐田市と連携して開始した、中学生を対象としたラグビーの地域クラブ活動です。部活動の地域移行を見据え、学校の枠を越えてラグビーを継続できる環境を提供。競技力の向上だけでなく、ラグビーを通じた人間形成や地域とのつながりを育みます。



アザレア・セブン

2023年11月から一般社団法人アザレア・スポーツクラブのゴールドパートナーとして、さらに連携を深めて女子ラグビーも応援。年齢・性別関係なく、県全体のラグビー発展に取り組んでいます。



競技普及

REVSキャラバン supported by 大興金属

県内自治体と連携しながら、ブルーレヴズとして主体的に行うラグビー普及活動。選手や育成普及スタッフが県内の幼稚園・保育園・こども園・小学校・中学校・高校・特別支援学校を訪問し、ラグビー体験、タグラグビー教室、夢語り授業などを行っています。





活動実績	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	205回	240回	243回	299回
	11,979人	13,616人	13,373人	16,447人

（2026年3月末時点）

ラグビーディスカバリー supported by しずぎん

2024年に始まり、これまでに計11回の実施、延べ657名が参加。初めてのスポーツにチャレンジする機会として、体を動かしながらラグビーの魅力や楽しさを感じてもらい、誰でも気軽に参加できる初心者向けのラグビー体験イベントです。





その他の普及活動

企業向け研修



自治体や企業を対象に、タグラグビーを活用したチームビルディング研修

タグラグビー交流



社員の健康増進や一体感醸成を目的とした交流にタグラグビーを採用

どろんこラグビー



どろんこ遊びとラグビー授業を組み合わせて、園児と触れ合い

SCRUM Action

SHIZUOKA BlueRevs

NTTジャパンラグビー リーグワン2023-24アワード
プレーヤーズ・チョイス・プライズ 社会貢献賞

静岡ブルーレヴズでは、事業活動を通じて社会課題の解決に貢献するためのプロジェクト「SCRUM Action」を2022年11月から開始しました。
2026年からは新たに、活動指針として“4つのS”を設定し、これまでの活動を引き継ぎながらも、もっと静岡と共に、もっと静岡の未来を作っていけるクラブを目指してまいります。

－4つのS－

Shizuoka
静岡のために

Sports
スポーツの力で

Scrum
スクラムを組んで

Sustainability
サステナブルな未来を

Actions

Blue Ties



2023年よりヤマハ発動機㈱と開始。ホームゲーム開場にて寄付いただいたウェアをヤマハクリーンウォーターシステムを導入しているケニア共和国に届ける。これまでに集めた衣類は1,800点を超える。

アップサイクル



選手の着用済みジャージや使用済みのバナーを利活用し、アップサイクルアイテムとして販売。一部の商品は障がい者就労支援施設などに製作を依頼することで、就労支援にも繋げている。

フードドライブ supported by 古山精機



ホームゲーム10回でフードドライブを実施。延べ900名の方の協力で約1,200点200kgの食品を集め、フードバンクふじのくにに寄付。

地域活性・交流人口



スタジアム周辺での交通渋滞発生や環境負荷の増大といった課題に、グリーンスローモビリティの活用や、周辺エリアや駅前での誘導・周遊施策に取組む。

Topics

令和7年度スポーツ庁のスポーツ産業の成長推進事業「スポーツコンプレックス推進事業」(スポーツを核としたまちづくりに資するテクノロジー活用支援事業)



プロスポーツチームで唯一の採択

▼

〈SCRUM Action App〉
を新たに開発

レヴズドリームファンド



静岡ブルーレヴズでは、個人・団体および法人向けの寄付金募集プロジェクト＜レヴズドリームファンド＞を立ち上げました。
いただいた寄付は、トップチームの強化・ラグビーの普及振興・社会貢献活動に充当し、当クラブのミッションの実現をさらに推し進めてまいります。

◆4つのオプション

いただいた寄付金の活用方法は、下記の4つのオプションの中からご指定いただけます。複数口の寄付をいただく場合、希望オプションも割り振ることが可能です。

OPTION 1 チーム応援資金

強化合宿、トレーニング器具、選手向けサプリメントなど日本一を目指すために必要となるチーム強化に活用します。





OPTION 2 ラグビー普及＆育成活動資金

ラグビーの競技人口増加に向けた普及活動や、スクール・アカデミー生を世界へ羽ばたく選手へと成長させる育成の活動資金として活用します。





OPTION 3 社会貢献活動（SCRUM Action）資金

静岡ブルーレヴズが中心となり社会課題解決に取り組むSCRUM Actionの活動や、各種団体への寄付金・義援金としてそのまま活用します。





OPTION 4 クラブ一任

上記オプション1～3に利用します。

Company Profile

静岡ブルーレヴズ株式会社 会社概要

会社名	静岡ブルーレヴズ株式会社 (SHIZUOKA BlueRevs, Ltd.)
設立	2021年（令和3年）6月22日
資本金	1億円
株主	ヤマハ発動機株式会社(100%)
本社オフィス	〒438-0071 静岡県磐田市今之浦3-8-8
クラブハウス	〒438-0002 静岡県磐田市大久保891番地106

代表取締役社長	山谷 拓志
取締役	設楽 元文
取締役	岡本 知彦
社外取締役	鈴木 健一郎
社外取締役	和田 由佳子
監査役	鶴見 英二
従業員数	40名
事業内容	ラグビーチームやラグビースクールの運営、 ホームゲーム興行他

（2026年10月末時点）

HISTORY ～YAMAHA RUGBY FOOTBALL CLUB～

創部から関西制覇
1982-2002

1982	**ヤマハ発動機ラグビー同行会結成**
1984	「**ヤマハ発動機株式会社ラグビー部**」創部、県内2大会を制覇
1987	磐田市大久保のヤマハ発動機総合グラウンドにラグビー専用グラウンドを建設
1988	静岡県社会人2部リーグ優勝／1部リーグ昇格
1990	静岡県内2大大会制覇／関西社会人ラグビーCリーグ昇格
1991	関西社会人ラグビーCリーグ優勝／Bリーグ昇格
1994	**第47回全国社会人ラグビー大会初出場**
1997	関西社会人ラグビーAリーグ昇格決定
2002	**関西社会人ラグビーAリーグ優勝**／第55回全国社会人ラグビー大会出場 ベスト8







ジャパンラグビートップリーグ
2003-2021

2003-2004	ジャパンラグビートップリーグ開幕 初年度3位／第41回日本選手権ベスト4 チーム愛称を「ジュビロ」に改名 スタジアムが「ヤマハスタジアム」に改名される
2004-2005	ジャパンラグビートップリーグ準優勝／第42回日本選手権ベスト4
2005-2006	ジャパンラグビートップリーグ7位 チーム名を「**ヤマハ発動機ジュビロ**」に改名
2006-2007	ジャパンラグビートップリーグ3位／第44回日本選手権ベスト4
2007-2008	ジャパンラグビートップリーグ7位
2008-2009	ジャパンラグビートップリーグ7位
2009-2010	ジャパンラグビートップリーグ9位 ヤマハスタジアムで初の国際試合開催（イングランド州選抜）
2010-2011	ジャパンラグビートップリーグ11位、入替戦で残留を決める
2011-2012	**清宮克幸監督就任**/ジャパンラグビートップリーグ8位 **東日本大震災後の釜石市で「復興祈願ラグビッグドリームマッチ2011」開催**
2012-2013	ジャパンラグビートップリーグ6位
2013-2014	ジャパンラグビートップリーグ5位
2014-2015	ジャパンラグビートップリーグ準優勝／**第52回日本選手権初優勝**
2015-2016	ジャパンラグビートップリーグ3位
2016-2017	ジャパンラグビートップリーグ準優勝／第54回日本選手権ベスト4
2017-2018	ジャパンラグビートップリーグ3位／第55回日本選手権3位
2018-2019	ジャパンラグビートップリーグ3位／第56回日本選手権3位











2019 トップリーグカップ戦11位

2020 堀川隆延が3度目の監督就任/**開幕戦で過去最多13,875人が来場**
新型コロナウイルス感染症拡大により第9節以降の全試合が中止となる

2021 ジャパンラグビートップリーグ9位



運営法人設立／ジャパンラグビー リーグワン
2021～



2021 日本初のプロフェッショナルラグビークラブ「**静岡ブルーレヴズ**」が発足

2022 JAPAN RUGBY LEAGUE ONE開幕 初年度8位
IAIスタジアム日本平で初のラグビー公式戦を開催



2022–2023 ジャパンラグビー リーグワン8位
埼玉パナソニックワイルドナイツの公式戦47試合無敗記録を止める
（44-25で勝利）



2023–2024 **藤井雄一郎が監督就任**/ジャパンラグビー リーグワン8位
クラブ創立40周年記念マッチ開催（ヤマハ発動機ジュビロOBvsワイルドナイツOB）
最終戦で静岡ブルーレヴズとして過去最多13,814名が来場



2024–2025 **ジャパンラグビー リーグワン4位**
クラブとしては初の3rdユニフォームとなる～ALL SHIZUOKAジャージ～を展開
静岡ブルーレヴズとして初めてプレーオフトーナメント進出（最終順位5位）



2025–2026 ジャパンラグビー リーグワン7位
ホームゲーム平均観客動員数はクラブ過去最多の9,111人を記録
日野 剛志と大戸 裕矢が現役選手では史上6人目・7人目となるリーグ戦通算150キャップを達成（2025-26シーズン時点）



トップパートナー

YAMAHA

ダイヤモンドパートナー

Suzuyo　KENTEM　リサイクル&エコロジー TAIKO 大興金属

プラチナパートナー

DAICEL　MITSUI&CO.　Softech　HAMANA

R&Oリハビリ病院グループ　静鉄グループ　MS&AD 三井住友海上　静岡銀行

ゴールドパートナー

Nishitetsu Group 西鉄旅行　FUJI BUSSAN　サカイ産業株式会社　日本軽金属グループ　天野回漕店

渥美工業　静岡マツダ　すみや電器　SEIWA SUPPORT　Daiwa House

シルバーパートナー

Lus　NAKAYA　Fujise Lec　不二化成品　春野コーポレーション　A.I.S

オーシャン貿易株式会社　SAKURA サクラ工業株式会社　土屋米穀店　NOMURA　BIZREACH　IKUNI

MIZUHO　YAMAHA　ECOM　NST 株式会社エヌエスティー　sala サーラグループ　Yakult 西静岡ヤクルト販売株式会社

KINIWA　SOMIC　株式会社協栄製作所　MARUHACHI　サンヨークリーニング　Aisan

アポロ電気株式会社　IHARA MFG.CO.,LTD.　SBS情報システム　SBSプロモーション　NSK-Warner　遠鉄グループ

kyowa LEATHER CLOTH 共和レザー株式会社　RACIAN　建通新聞　Coca-Cola BOTTLERS JAPAN INC.　株式会社佐野　SUNWAY CO.,LTD

SEED　C Nexsus　JM JAPAN MANAGEMENT　SHIDAX 未来の子供たちのために　TECHNOLOGY & TRUST 新東海製紙株式会社　株式会社杉浦組

株式会社精研　セルコ株式会社　竹田運輸株式会社　田子重　ツカサ　TOKAI GROUP TOKAIグループ

鳴本組　HAMAMATSU PHOTON IS OUR BUSINESS　平野建設　薬局フォーリア　FUJITA　Team masuoka 株式会社益岡製作所

MIDAC　タスク整体院　MEIDEN　MEIWA　ユービーサポート株式会社　株式会社吉和田浜松

Rakuten Mobile　REGIONAL CAREER 静岡 Powered by Link-Ambition

オフィシャルパートナー

ブロンズパートナー

株式会社ウエルビーフードシステム	NTN株式会社 磐田製作所	落合刃物工業株式会社	株式会社クラベ	税理士法人坂本&パートナー
株式会社フジコーポレーション	静岡隆嘉商会株式会社	浜松ガスケット株式会社	辛麺屋 桝元	あいネットグループ
アクアインテック株式会社	朝日電装株式会社	ASTI株式会社	天方産業株式会社	遠州トラック株式会社
共同船舶株式会社	JA共済連 静岡	静岡競輪	株式会社静岡総合不動産	スマートエナジー磐田株式会社
株式会社セイセイサーバー	株式会社竹中工務店	司ゴム電材株式会社	浜松いわた信用金庫	浜松倉庫株式会社
株式会社ヤマ鋲螺	樂天堂整形外科	有限会社春華堂	株式会社遠州日石	日管株式会社
星光社印刷株式会社	ボートレース浜名湖	株式会社PANO	株式会社ジェイ・プラッカ	青島皮膚科医院
石川建設株式会社	株式会社イトー	磐田化学工業株式会社	内田計器工業株式会社	うちやま呼吸器・アレルギークリニック
金田工業株式会社	木内建設株式会社	株式会社協和アルテック	協和サンシンエンジニアリング株式会社	株式会社ケージーケー
コーチ株式会社	小松工業株式会社	佐藤産業株式会社	株式会社サワキ	株式会社三和製作所
株式会社シラトリ	須山建設株式会社	清和海運株式会社	株式会社大進	太陽建機レンタル株式会社
中部電力株式会社	西伊豆プロジェクト	株式会社大輝	株式会社トープラ	株式会社トランスポートオオスギ
株式会社名倉ルーフ	日光水産株式会社	日興電気通信株式会社	日本荷造運送株式会社	株式会社ファミリーマート
冨士物産株式会社	細谷精機株式会社	株式会社丸山コーポレーション	三菱電機株式会社	株式会社望月商事
株式会社八ヶ代造園	株式会社吉田	林工住宅株式会社	H.K.K株式会社&D.K.K株式会社	

プラチナサプライヤー

WRS JAPAN　静岡マツダ　SPOCOLLA　ザザ中央館　知久屋

ゴールドサプライヤー

VENEX THE RECOVERY BRAND　WINZONE　土屋米穀店　AEON MALL イオンモール浜松市野　Yakult 西静岡ヤクルト販売株式会社　三井ショッピングパーク LaLaport IWATA

AEON MALL イオンモール浜松志都呂　INIFIA　HEALTHY PASS　MBC POWER　まだみぬ、世界は、美しい SEED

シルバーサプライヤー

はごろもフーズ株式会社　株式会社ハル・インダストリ　アルコ株式会社　大塚製薬株式会社　株式会社マーシャルワールドジャパン

株式会社ニューハレックス

ブロンズサプライヤー

有限会社石井育種場　株式会社オリゼ

アカデミーパートナー

VAYoreLA　TOYOTA L&F トヨタL&F静岡

メディアパートナー

静岡新聞 SBS　K-MIX MOVE ON WAVE

SCRUM Actionパートナー

リサイクルクリーン　KOYAMA 古山精機株式会社

パートナーシップ協定自治体

静岡県　浜松市　磐田市　袋井市　掛川市　静岡市　菊川市　湖西市　西伊豆町　沼津市

川根本町　焼津市　御殿場市　牧之原市　森町　御前崎市　富士市　藤枝市　三島市

2026年9月24日時点

BIND AND TRY

お問い合わせ
静岡ブルーレヴズ株式会社　電話：0538-32-0206（平日10時～18時）　メール：information@shizuoka-bluerevs.com